

2021年1月7日

「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]2020^{※1}」で 「Grand Prize Company（大賞）」を受賞！

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、一般社団法人 日本取締役協会（会長 宮内義彦）が主催する「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]2020」において、東証1部上場企業約2,000社の中から大賞となる「Grand Prize Company」を受賞しました。

「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]」は、コーポレートガバナンスを活用して中長期的に健全な成長を続けている企業を後押しするため、同協会が経済産業省などの後援のもと、2015年から実施しているものです。

※1 「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]」は、一般社団法人日本取締役協会の登録商標です。

【日本取締役協会からの当社選定理由】

■ 審査委員長 齊藤惇氏からのコメント

・社長自らマイケル・ポーター教授に会い、彼の唱えるCSV^{※2}、すなわち積極的社会貢献を実践することによって企業の成長と財務的価値を拡大するというテーマに先頭に立って取り組んでいる。

・同社のコア技術である発酵バイオテクノロジーをベースとして、社会が求める価値を創造することによって社会に貢献するという企業目的を明確にし、その実践に当たって多様性に富んだスキルの高い外部人材を経営に招き、透明性の高いガバナンス体制を構築している。

※2 Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造。



Corporate Governance
of The Year

【キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長 磯崎功典 コメント】

・このたびは、「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー大賞」という大変名誉ある賞をいただき、心から感謝申し上げます。不透明・不確実な時代だからこそ、社会的価値と経済的価値を両立させるCSV経営という軸が必要であり、社会と共に成長を続けていくためには強固なガバナンス体制が欠かせません。今後も食から医にわたる領域で事業を拡大するため、キリングroup全体をしっかりと管理監督できる制度・体制を構築し、ステークホルダーの皆様との対話を重ねることでコーポレートガバナンスの実効性を高めていきます。

キリングroupは、適切なガバナンス体制のもと、長期経営構想「キリングroup・ビジョン 2027」の実現に向けて、食から医にわたる領域で持続的にイノベーションを創出し、2027年に「世界のCSV先進企業」となることを目指します。